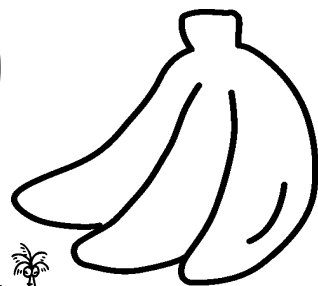


ばななだより

草笛学園 2024年 12・1月号



月日が経つのは早く、今年も残りわずかとなりました。朝晩がとても寒くなってきました。風邪などひかないように、温かい食べ物を食べたり、温かい服を着たりして寒さ対策をしてくださいね。



尊重されたい心

4歳に近づいてくると、もうからだは一人前です。からだ全体を使って、折り紙を折るのと同じ手順で、昼寝の布団をたたもうとしています。自分の獲得をしている力を生活のなかで使い、生活を自分でこなせつる実感をもとうとします。しかも、自分だけではなく、友だちもがんばっているのです。友だちの姿をみて、自分もがんばらなくてはと思います。友だちの姿が生活のモデルとして、位置づけられてきたのです。

そんな保育所での生活を、おかあさんも、おとうさんも知りません。だから、家では布団をたたむなんて、子どものしごとではなく、おとなが一気に片づけてしまうことかもしれません。そして、着替えが遅いのをいつも叱られてばかりいる自分かもしれません。「着せて」、「取って」などと、2歳のときよりも依存的なことばが増えるかもしれません。まだ、着脱などの細かいことでは援助が必要な段階なので、無理もないでしょう。

<略>家の外での自分のがんばりを認めてもらいたい願いをもち、そして自分で生活をこなせることを尊重してほしいのです。ところが、外でがんばっているという実感をもつほど、家で尊重されていないことにイライラします。そして、外でがんばっている分、家では、脱力してしまうのでしょうか。自分のがんばりとおとなの評価の断層が、「甘え」や「ぐず」や「わがまま」と評価されるような行動になるのです。

できるなら、家を離れ、親から離れた関係のなかで、自分を励ましなが、自分の力で生活しようとしているわが子の姿を見つめてみたいものです。家庭で育てている子どもたちも、がんばって、がまんして、お留守番に挑戦したり、近所の家やお店にお使いに出かけられるようになるでしょう。しかし、いつもおとなのまなざしは必要です。おとながど

こにいるか分からないと、がんばりと我慢は、たちどころに崩れてしまいます。日常生活動作にも子どもの「自分で最後までしたい」願いを尊重しつつ、つまずいたときには、いつでも「いっしょにがんばってみようね」と支えてあげましょう。そして、やりきった努力を、まずおとうさん、おかあさんに認めてほしいのです。

『発達の扉・上』 白石 正久著

◎1・2月のばなな教室のお知らせ◎

ばなな①：1月の活動はありません。

2月6日(木) クッキング(おにぎり)

持ちもの・・・エプロン、三角巾、マスク(保護者の方もお願いします)、
水筒、シューズ

※参加費はクッキングの材料費も含め、200円になります。

ばなな②：1月16日(木) クッキング(おにぎり)

持ちもの・・・エプロン、三角巾、マスク(保護者の方もお願いします)、
水筒、シューズ

※参加費はクッキングの材料費も含め、200円になります。

2月20日(木) ころがしドッジボール

持ちもの・・・水筒、シューズ



『参加される皆様へ』 ~ご協力をお願いします~

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費はおやつ代の100円です。(次回からおたよりがホームページに掲載され、通信費が必要ないため)制作や、クッキングの活動の時には材料費として+100円いただきます。その都度連絡いたします
- ・活動は主に、草笛学園遊戯室での活動となります
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい(ジュース類は控えてください)
- ・きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前にご相談ください
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください